

平成27年度  
行政評価 外部評価報告書

平成28年3月

島原市行政評価委員会

はじめに

「島原市行政評価委員会」は、市のまちづくりの施策等に対して、市民の視点に立った公平かつ客観的な評価を行い、効率的で効果的な行政活動を促し、市勢振興計画に掲げるまちづくりの目標の達成につなげるとともに、信頼性の高い行政評価システムを構築することを目的に、学識経験者等により平成21年度に設置されたところである。

昨年10月、「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、「島原市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、本市が抱える、人口減少の克服、地域経済の発展、活力ある地域社会の形成などの課題に一体的に取り組んでおりますが、一方で、財政状況は今後、更に厳しさを増すことが予想され、既存の事業を見直し、喫緊の課題である人口減少対策など優先度の高い案件に重点配分することの重要性がますます高まっている。

こうした観点から、島原市の4事業について、各事務事業評価調書や所管部署との質疑応答により評価を行い、その結果を取りまとめたので、ここに本委員会の意見書として提出する。

国・地方を通じた厳しい財政状況が続く中、ますます地方自治体の自主性・主体性が求められるとともに、これまでの行政と民間との役割分担をもう一度見つめ直し、将来の市のビジョンに基づいた市民や企業との協働による効率的な行政運営が求められている。

島原市においては、本委員会の意見を真摯に受けとめ、政策の立案・実施・評価・改善というマネジメント・サイクルの更なる有効性を高め、市民の負託に応えられる行政運営の実現に取り組まれることを望むものであり、この報告書が行財政運営の改革、改善に寄与し、「有明海にひらく湧水あふれる火山と歴史の田園都市 島原」の実現に向け、活用されることを期待する。

平成28年3月

島原市行政評価委員会  
委員長 山口 純 哉

# 目 次

	ページ
1. 審議の対象とした事業 .....	1
2. 審議に当たっての視点 .....	1
3. 審議の結果等 .....	2
(1) 審議の経過 .....	2
(2) 審議の結果 .....	2
①効率的かつ効果的な事業の実施	
②民間と連携した取り組み	
4. 個別事務事業に対する意見 .....	4
①白土湖水草除去・抑制対策事業	
②児童館運営費	
③島原市老人クラブ社会参加活動事業費補助金	
④島原市老人クラブ連合会すこやか対策推進補助金	
 (参考)	
島原市行政評価委員会委員名簿 .....	7

## 1. 審議の対象とした事業

本委員会の審議対象とする4事業については、市勢振興計画に掲げた5つの都市づくりビジョンと3つの行動方針の実現に向けた主要事業の中から、①幅広い分野から選択②政策的要素を持つ\*事業③一定の規模・事業費を有する事業などの観点に基づき、審議時間も考慮の上で抽出、決定した。

\*内部管理的事務事業は除く、という意味

(所管部)	(抽出事業数)
○福祉保健部	3
○建設部	1
	計 4

## 2. 審議に当たっての視点

- ・市勢振興計画等、上位計画の目標に照らして適切な事業となっているか。
- ・市として事業を実施する必要性が真に認められるか。また、民間等との効果的な連携・役割分担ができていないか。
- ・現場ニーズに即した事業内容となっているか。
- ・評価指標、目標値は適切に設定されているか。
- ・事業の成果が客観的に検証されているか。
- ・事業をさらに効率的かつ効果的に実施する余地がないか。
- ・次年度事業実施に向けた方向性が評価結果を踏まえた確に示されているか。

### 3. 審議の結果等

#### (1) 審議の経過

第1回委員会（2月10日）において所管課へのヒアリングを実施するとともに、委員間での論点整理、意見交換等を行い、各事業の評価を行い、外部評価報告書の内容については、書面による協議を行い、とりまとめた。

#### (2) 審議の結果

個別の事務事業に対する本委員会の意見は別紙のとおりである。なお、全体的な視点からの意見は次のとおりである。

##### ① 効率的かつ効果的な事業の実施

事業の必要性については、一定の理解が得られるものの、効率的かつ効果的な事業の実施方法について、検討が必要という意見があった。

「白土湖水草除去・抑制対策事業」においては、他の自治体の先進事例を参考にしながら、科学的な根拠を持ち、長期的な視点で効果的な方法を検討し、事業費の縮減を図ってもらいたい。

「児童館運営費」においては、少子化が進む中で将来的なことを踏まえ、小学校の空き教室や公民館の活用など、代替施設への移行を検討してもらいたい。

「島原市老人クラブ社会参加活動事業費補助金」及び「島原市老人クラブ連合会すこやか対策推進補助金」においては、定額補助ではなく、活動実績に応じた補助金の配分方法の検討、併せて補助対象経費の明確化を検討してもらいたい。

② 民間と連携した取り組み

民間と連携したまちづくりの推進は、昨今の行政運営において重要な視点である。

「白土湖水草除去・抑制対策事業」においては、行政だけではなく、ボランティアを活用して事業費の縮減を図ってほしい。

「児童館運営費」においては、市全体の子育て支援施設の中での位置づけを再確認し、民間への管理委託や施設の民間移譲も視野に検討してほしい。

個別事務事業に対する意見

(別紙)

担 当 部/課	評価対象事業名	平成27年度 事業コスト(千円)	事業概要
建設部 都市整備課	白土湖水草除去・ 抑制対策事業	直接事業費 11,448	<p>○事業概要 定期的に水草の除去作業を継続して行い、美しい景観の白土湖を見せる。 また、水草の抑制対策として、平成27年度で、湖底に200㎡(100㎡の面積で2ヶ所)の砂利を敷き詰めた。今後は、敷き詰めた砂利の部分から水草が繁殖していないか、定期的に調査を継続して行い、どのようにしたら藻の繁殖を抑制することができるのか検討しながら、水草の除去に要する費用の削減に努める。</p> <p>○事業開始 平成27年度～</p> <p>○成果指標 水草が水面を覆わない、水草が繁殖しない</p>
行政評価委員会における審議及び意見			
<p>【審議】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・白土湖の環境をよくするためには継続して事業を行う必要がある。</li> <li>・いかに科学的な根拠を持ち、低コストで事業を行うかが検討課題である。</li> <li>・他の自治体の取り組みを参考に、長いスパンで効果がある方法を検討し、事業費の縮減を図ってほしい。</li> <li>・行政でやらざるを得ない部分もあると思うが、ボランティアや市民協働でやれないかも検討してもらいたい。</li> </ul> <p>【結論】</p> <p>「事務改善」 効率的な方法は何か、事業主体はどこか、コストについて試行錯誤しながら最適な方法を探してもらいたい。</p>			

## 個別事務事業に対する意見

(別紙)

担 当 部/課	評価対象事業名	平成27年度 事業コスト(千円)	事業概要
福祉保健部 こども課	児童館運営費	4,424	<p>○事業概要 子どもに健全な遊びと良い環境を提供することにより、子どもの生活や心の安定と子どもの能力の発達等の健全育成を図る活動の拠点として、併せて、子育て家庭への子育て支援を行うことを目的として、児童館を設置運営する。</p> <p>○事業開始 昭和39年度～</p> <p style="text-align: right;">○成果指標 児童館利用者数</p>
行政評価委員会における審議及び意見			
<p><b>【審議】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市の総合計画で子育て支援が前面に出ており、全体の中で、この施設をどのように位置づけるかで必要なか必要でないのか判断することになるのではないか。少子化が進む中で、環境の変化を常に意識しながら将来的なことを含めて検討が必要である。</li> <li>・地域と密着した施設であり、白山地区にとっては必要な施設だと思うが、親子で楽しめるような施設にするなど内容を見直し、改善しながら事業を継続してほしい。</li> <li>・小学校の空き教室や公民館の活用など代替施設への移行や民間移譲について検討してもらいたい。</li> <li>・子育て世代の家族応援施設として考えた方がよい。そのうえで、学童保育やファミリーサポートセンターなどと時間軸での連携を図ることが必要。</li> </ul> <p><b>【結論】</b></p> <p>「事務改善」 市全体の子育て支援施策の中での位置づけ、施設の必要性、存在意義について、場合によっては「廃止」も視野に入れて検討してもらいたい。</p>			



個別事務事業に対する意見

(別紙)

担 当 部/課	評価対象事業名	平成27年度 事業コスト(千円)	事業概要
福祉保健部 福祉課	島原市老人クラブ 社会参加活動事業 費補助金  島原市老人クラ ブ連合会すこや か対策推進補助 金	1,183  1,305	<p>○事業概要 高齢化の進展に伴い、高齢者一人ひとりができる限り健康で、社会における役割をもって生きがいのある生活を送ってもらうことが必要である。このため、高齢者の生きがい活動の中核を担う老人クラブに対して助成を行うことで活動の一層の活性化を図り、高齢者の生きがいと健康づくりを推進することにより、明るい長寿社会の実現と福祉の向上を図る。</p> <p>○事業開始 不明</p> <p>○成果指標</p>
行政評価委員会における審議及び意見			
<p><b>【審議】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定額補助ではなく、活動実績に応じた補助金の配分方法を検討してもらいたい。その際には、事務負担軽減のため、補助対象経費、補助対象外経費を明確にした「手引き」の作成についても検討してもらいたい。</li> <li>・単位老人クラブは人数が多いところ、少ないところがあると思う。一律の定額補助ではなく、クラブの人数に応じた補助金の配分を検討してもらいたい。また、補助金配分の一つの指標として、その地域の健康保険の状況を加味できないか。</li> <li>・老人クラブ連合会事務局に事務局長がおり、給料が支払われているようだが必要ないのではないか。事務局体制の見直しが必要ではないか。</li> </ul> <p><b>【結論】</b></p> <p>「事務改善」</p> <p>活動実績等に応じた補助金の配分方法を見直してもらいたい。また、「島原市老人クラブ連合会すこやか対策推進補助金」については、老人クラブ連合会の事務局体制の見直しを含めて、必要な経費を補助するよう見直してもらいたい。</p>			

# 島原市行政評価委員会 委員名簿

(五十音順)

委員名	所属等	任期(2年)
○大野 友道	九州北部税理士会島原支部 支部長	H28.2.10~H30.2.9
田浦 聖宗	島原青年会議所副理事長	H28.2.10~H30.2.9
高橋 勝則	元島原市収入役	H28.2.10~H30.2.9
野田 隆義	島原市町内会・自治会連合会 会長	H28.2.10~H30.2.9
町田 和正	(財)ながさき地域政策研究所事務局長	H28.2.10~H30.2.9
満井 敏隆	島原商工会議所 会頭	H28.2.10~H30.2.9
本村 三郎	元島原市監査委員	H28.2.10~H30.2.9
◎山口 純哉	長崎大学経済学部 准教授	H28.2.10~H30.2.9
山崎 幹子	島原市男女共同参画推進懇話会委員	H28.2.10~H30.2.9
吉田 昭信	JA島原雲仙 島原支店長	H28.2.10~H30.2.9

委員 10名

◎委員長、○副委員長